

事務事業名	天文台活用事業				☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会		所属課	生涯学習課
施策名	21	生涯学習の推進			所属係	図書館班		課長名	野本 立一
基本事業名	78	学習やスポーツへの参加機会の提供			担当者名	坂本 好幸		電話番号 (内線)	096-242-5555
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 08	事業				
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 7 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)				法令根拠				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)				
(事業の内容) 図書館天文台を一般公開しての、毎週土曜の夜の星空観望会(定期)や、その他天文現象に合わせての特別観望会(不定期)を開催。その他、星空や天文に興味を持ってもらう市民参加型のイベント開催しており、これらの星空の解説や各種望遠鏡の操作といった天文台の運営はボランティアの天文台指導員が行っている。 (業務の内容) 年間計画の作成。定期・特別観望会、イベントの開催。天文台広報チラシ(毎月)の作成。団体からの依頼星空観望会への対応。 (予算の内訳) 報償費(天文台指導員)、消耗品費(広報チラシの用紙)					総 投 入 量	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
事業費計 (A)								0	
正規職員従事人数									
延べ業務時間									
人件費計 (B)								0	
トータルコスト(A)+(B)								0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

定期星空観望会(晴天時のみ)。特別観望会(七夕観望会7/7、ペルセウス流星群観望会8/12、中秋の名月観望会10/7、しし座流星群観望会11/18 太陽観望会10/22)、団体からの依頼観望会6回

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

定期星空観望会(晴天時のみ)。特別観望会(七夕、ペルセウス流星群、中秋の名月、ふたご座流星群、火星、太陽)。「紙飛行機を飛ばそう」等

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

天体に興味がある市民及び周辺自治体住民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

多くの人に天文台を知ってもらい、利用してもらう

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

学習やスポーツに参加する機会がある

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 開催日数	日
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 市民	人
イ 県民	人
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 利用者数	人
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 学習・スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			396	396	500	500	500
			事業費計 (A)	千円	0	0	396	396	500	500	500
	人件費		正規職員従事人数	人			2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時間			192	192	192	192	192
			人件費計 (B)	千円	0	0	762	762	762	762	762
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1,158	1,158	1,262	1,262	1,262
活動指標	アイウ	日			28	30	30	30	30		
対象指標	アイウ	人			52536	53909	54518	55124	55732		
		人			1827919	1820000	1820000	1820000	1820000		
成果指標	アイウ	人			873	950	1050	1050	1050		
上位成果指標	アイウ	%									

合志市

事務事業名	天文台活用事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
西合志図書館を開館するにあたり、なにか特徴ある図書館できないか、ということで天文台を設置した。その施設を活用し、住民に科学への関心を持ってもらい、生涯学習活動に生かしてもらおう目的で、平成8年度から一般公開を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
・合併後、旧合志町の住民の方に天文台の存在が広く広まった。
・ボランティアの天文台指導員の登録者減少により、利用者が多数の時の天体解説等に対応できない時がある。そのため平成18年度より天文台指導員養成講座を開講し新たなボランティアの養成を行っている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
利用者からは、合併後、議員からもっと市民にその存在や活動をアピールしてもらいたいとの意見が寄せられた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 市民の知的要求に応え、生涯学習を支える。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市の公共施設を使つての事業であるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 現在でも市内・市外に限らず、無料で一般公開しているため、対象を限定したりすることは単純に利用者をへらすだけに過ぎないため。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 もっと天文台の存在や活動をアピールし、市民をはじめ多くの方々に利用してもらう。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 熊本県内を見渡しても、合志市民が気軽に足を運ぶことができる同等規模の天体観測施設は無いため、市民が星空にふれる機会がなくなってしまう。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的(意図・対象)をもつ事業が他にない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 無料で公開しているため

合志市

事務事業名	天文台活用事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

もっと天文台の存在や活動をアピールし、市民をはじめ多くの方々に利用してもらおう。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

これからも情報発信を行い、より多くの方に利用していただけるように体制を整備していく。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

解説や望遠鏡操作など天文台の業務のほとんどを天文台指導員に頼っているが、天文台指導員の数が減ってきており、利用者の数によっては対応できない場合がある。さまざまな天文台活動の実施は、新規天文台指導員の増員にかかっている。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項